

バタフライバルブ 操作方法：レバー式・サイドギヤ式を選定するポイントは？

1. 適用呼び径：【レバー式】は呼び径200mm以下  
【サイドギヤ式】は全呼び径に適用
2. 操作性：【サイドギヤ式】は比較的操作トルクが軽い
3. 開度の設定：【レバー式】は5度刻み【サイドギヤ式】は任意位置で調整可能

操作方法 レバー式のGoodポイント、サイドギヤ式のGoodポイント

一口に操作方法と言っても、その違いによって様々な得意なポイント、不得意なポイントがあります。レバー式は、操作が簡単で遠目からでも開閉が一目でわかります。一方、サイドギヤ式は、大口径のバルブや準禁油品でも開閉にかかる力を軽減できるというGoodポイントがあります。



レバー式		サイドギヤ式
40~200mm <span style="color: green;">△</span>	<b>適用呼び径</b>	<span style="color: blue;">○</span> 40~600mm
サイドギヤ式より安価 <span style="color: blue;">○</span>	<b>価格面</b>	<span style="color: green;">△</span> レバー式より高価
軽量・呼び径によりレバーの大きさも変わる <span style="color: green;">△</span>	<b>軽量/コンパクト</b>	<span style="color: green;">△</span> ギヤBOX分だけ大きく、重量も重い
レバーを開閉するだけのシンプル・クイックな弁開閉*1 <span style="color: blue;">○</span>	<b>操作性</b>	<span style="color: blue;">○</span> 軽い力で弁の開閉可能。また、瞬時に開閉できないためハンマー現象防止に
レバーの方向でバルブの開度が判る <span style="color: blue;">○</span>	<b>開度の判断</b>	<span style="color: green;">△</span> ギヤBOXの開度表示で判断
全開↔全閉まで5度刻みで調整 <span style="color: blue;">○</span>	<b>開度調整精度</b>	<span style="color: blue;">○</span> 全開↔全閉まで無段階調整*2
南京錠を後付けすることで管理者以外の操作を抑止 <span style="color: blue;">○</span>	<b>誤操作防止</b>	<span style="color: green;">△</span> オプション：ハンドルロック機構を用いて、任意位置での固定が可能

\*1 流体圧や呼び径によって応分の操作力(体力)が必要となります。

\*2 振動のある場所や流速が速かったり、乱流が発生する場合はディスクが閉方向へ移動する可能性があります。

上記比較は、ASAHI AV バタフライバルブ57型・56型・75型を中心としたものであり、58型、55型/55IS型、ラグバタフライバルブ57L/57TL、大口径バタフライバルブにおいては、詳細が異なる場合がございますので、お近くの旭有機材営業所にお問い合わせください。

▶ ASAHI AV バタフライバルブ (手動) ラインナップ

配管設備の選定にお悩みの際は、  
お問い合わせください！旭有機材の営業員が  
適切なバルブ選定をお手伝いします！

▶ 旭有機材へお問い合わせ

**ASAHI AV**